

# 5月 園だより

## 今月の予定

- 2日(金) 保育園の子どもの日
- 8日(木)～保育参加開始
- 12日(月) 身体測定
- 13日(火) ほのぼのくらぶ(りの)
- 14日(水) 今日のお話なんだろう(りの)
- 15日(木) 避難訓練 / センサーボトル作り(りの)
- 19日(月) にんじんホットケーキ(りの)
- 20日(火) プラネタリウム(5歳児)
- 22日(木) 春の健康診断(全園児)
- 23日(金) 虫よけスプレー作り(りの)
- 27日(火) 春の歯科検診 / フラワーアレンジメント(りの)



## 今月の保育

### 【虹のおうち】

0歳児1名が「昼間の家族」に加わりました。4月に入園した子どもたちもちょうどこのタイミングで保護者の方が仕事を復帰する子が多く、今月は保育時間だけでなく生活リズムもぐっと変化することが予測されます。毎日お家からの生活を引き継ぎつつ、表情や仕草などから一人ひとりの欲求や思いを汲み取り丁寧に応えることで、子どもたちが一日を通して安心して食べて眠ることができるようにします。

また、晴れの日には園庭や芝生でたっぷりと身体を動かしたり、散歩にも出かけたりする予定です。水分補給や衣類の調節、日陰を選ぶなどの配慮をしながら、心地よい風や自然に触れられるようにしていきます。まだ外遊びはしない小さな子たちも、テラスや窓辺で遊ぶ中で外気に触れたり、部屋の中で薄着で過ごしたりし、適度に汗をかく機会を大切にしていきます。



### 【森のおうち】

5月は夏日となる日が多く予想されています。暑さにまだ慣れていない時期を安全に過ごせるよう、水分補給や衣類の調節をしたり、外遊びの時間を調節したりしながら過ごしていきます。

3歳児は今月も好きな人や場所、好きな遊びを楽しみ、安心して過ごせる環境を大切にしていきます。また引き続き同じ流れで生活をすることで、自分でできる嬉しさや楽しさが増え自信となるようになっていきます。

4歳児はイメージしたものを自由に表現することを楽しみながら、制作の喜びを自信に繋げていけるよう環境を整えていきます。

5歳児は集団遊びを通して仲間で遊ぶ楽しさを味わえるようになっていきます。今月はプラネタリウムの鑑賞も予定しています。星や宇宙に関心をもち、知らないことを調べ興味をもつことや、公共機関を使って安全に移動することなどを体験していきます。

### 【虹のおうち】

ポレポレで遊んでいた2歳児たち。何やら森の子どもたち(3～5歳児)がブルーシートを敷いて集まり始めると、その様子に気づいた子から一人また一人とその輪に加わります。始まったのは小麦粉粘土づくりでした。

実はその時、保育者たちの中で葛藤が...さっきまで遊んでいたブロックもおままごとも全部出っばなし...「片付けてこよう」と声を掛けるかこのまま見守るか...一度は片付けの声を掛けることもしたのですが、その後は見守り、この時は保育者が片付けることを選びました。

虹を飛び出してポレポレで遊ぶようになったばかりの2歳児たちが、森の子たちが楽しそうなことを始めたことに自分たちで気がついたのです。そして、安心してその輪の中に自ら入っていったのです。その時の真剣な眼差し。その後、森の子どもたちが小麦粉粘土を踏んで足でも感触を味わって楽しむ姿を、2歳児たちも夢中になって真似ていました。

迷ったけれど、あの場面でもしも片付けを優先していたら自然と大きい子の遊びの輪に入り、あんな風に真似て遊ぶ姿はなかったかもしれません。片付けを伝えるのはまた別の場面、別の機会に。いま目の前のこの子(たち)にとって、どんな大事な意味があるのか、これがどんな育ちを支えることに繋がるのか等、これからも丁寧に汲み取りその都度考えながら保育をしていきたいと思った場面でした。



### 【森のおうち】

新しい出会いにドキドキワクワクして過ごした4月。好きな保育者や友達と、好きな場所で好きな遊びをたっぷり楽しみながら過ごしました。

屋上では子どもたちが存分に遊びを楽しみ安全に遊べるように、人数が大勢になりすぎないように配慮して過ごしています。そんな中、朝早くから屋上に遊びに出ている3歳児たちがお部屋に戻り4、5歳児たちが屋上へ出て、不織布に絵の具をたらしスポイトで水をたらず造形遊びを始めました。するとお部屋には戻らず、側でずーっとその様子をのぞき込んでいる3歳児の二人がいました。そこに気づいた保育者は「みんなはもうお部屋に戻っちゃったよ」ではなく...「やってみる?」と声を掛けました。二人は満面の笑みで頷き、5歳児の子どもたちの間に入り早くとはばかりに手を伸ばします。「自分で」と絵の具を布にぎゅーっとたらしつけている指先に入る力はとても強く、満足そうな顔。興味をもった遊びをしたその後の着替えは、やる気満々で行っていました。異年齢で過ごす中で子どもたちの興味や関心にこれからも寄り添い関わっていききたいと思いました。



清々しい青空に爽やかな風が吹く5月を迎えました。先月は目で楽しんだチューリップに子どもたちが触れる機会を・・・と思い、花卉が落ち始めたものを切り取って、屋上へ・・・園庭へ・・・毎日運びました。草花の色には絵の具や折り紙、色画用紙では出会えない色味があります。花に触れながら五感で味わって欲しい・・・そんな思いでした。

1本握って歩き始めるのは虹の子どもたち。「きれい〜」「ちゅ〜りっぷ」と言いながら得意げに大人に見せてまわり、三輪車にさせて、ビニール袋に入れて・・・大切に持ち歩いていました。3歳児たちは傘にしたり、茎をストローにしたり、のり巻きや焼き肉に、折れた茎や葉の部分はトングにするなどして全て使い尽くしてままごと遊びに。3歳児ならではの発想力に驚かされました。(詳しくは4/10とそれ以降のドキュメンテーションをご覧ください)

異年齢保育の中で3歳児がたびたび発揮する影響力。大きい子どもたちが「え?それもありなの?でも面白そう!」と物事の魅力をさらに発見するきっかけになるのが3歳児の存在であったりします。そんなことを思いながら、チューリップを様々な形で遊びに取り入れる姿を嬉しい気持ちで見守りました。

5月5日は立夏です。5月は、夏の暑さに体を慣らしていく「暑熱順化(しょねつじゅんか)」を始めるのにぴったりの季節です。暑熱順化が進むと

- ・発汗量が増える
  - ・汗に含まれる塩分量が減少する(塩分保持能力の向上)
  - ・皮膚の血流量が増え、体の熱を効率よく放散するようになる
- このような変化が体に起こります。子どもはこの順化に少し時間がかかるため、今の時期から少しずつ始めます。保育園での外遊び、お散歩、ダンスなど日常の遊びが体作りにつながると考えています。ご家庭でもできる体作りの工夫・・・例えば
- ・外遊びをこまめな水分補給と一緒に楽しむ
  - ・湯ぶねにつかって汗をかく習慣をつける
  - ・エアコンを使い始める時期は設定温度を低くし過ぎない
- など、無理のない範囲で取り入れてみてはいかがでしょうか。

暑熱順化ができて、数日間涼しい環境で過ごす元に戻ってしまうそうです。梅雨時期の涼しさで体が戻り、梅雨明け後の急激な暑さに体に対応できずに熱中症のリスクが高まります。ですので、5月から始めるのがよいですね。

子どもも大人も夏に向けた体作りを楽しみながら進めていきましょう。

園長 鹿野千景

### ～お知らせとおねがい～

- ・今年度も実習やフィールドワークに来る学生を受け入れます。未来の保育者が、実際の保育現場で子どもたちと触れ合いながら保育の楽しさや奥深さを学ぶ機会を提供するのも保育園の役割と考えています。ご理解の程よろしくお願ひします。
- ・令和6年度の父母の会より寄付金一万円をいただき、1年間毎月届く月間絵本を購入いたしました。虹のおうちは『こどものとも0・1・2』、森のおうちは『ちいさなかくのとも』です。ありがとうございました。